

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	中学教科教育法Ⅲ（英語）				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

「中学教科教育法Ⅰ・Ⅱ」単位を取得したことを前提にして、英語指導力を高めるため、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング各能力の指導法の知識と技法を取得し、英語科目を指導する人材としての能力を再確認し、実践も加え、さらに能力を高める。

《授業の到達目標》

中学教科教育法Ⅱでは指導側に求められる英語力を高める内容で、この講義では英語教育で指導側に求められる英語指導力の向上を目指す。

《成績評価の方法》

プレゼンテーション50%、試験50%により評価する。

《テキスト》

実践的英語科教育法—総合的コミュニケーション能力を育てる指導（村野井仁 著）成美堂出版

《参考図書》

「新改訂版英語科教育実習生のためのミニマム・エッセンシャルズ」田中誠（著）（現代教育社）
「中学校学習指導要領」「中学校学習指導要領解説 外国語編」

《授業時間外学習》

・テキストの予習・復習
一わからない単語は意味や読みを調べておくこと ・プレゼンテーションを実践練習するので、講義終了後、なんども準備、リハーサルをして講義に向かうこと。

《備考（教員経験の有無）》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	リスニング（1）	リスニングの過程について解説し、リスニング指導（コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う）
2	リスニング（2）	リスニングの具体的な指導法とその実践
3	リスニング（2）	リスニング部分の模擬授業と授業検討会
4	スピーキング（1）	スピーキングの重要性とコミュニケーションでの役割
5	スピーキング（2）	スピーキングの英語音声の仕組み、発音指導の実践
6	スピーキング（3）	スピーキングの授業の流れと実践方法（ペアワークやロールプレイ）
7	スピーキング（4）	スピーキング部分の模擬授業と授業検討会
8	リーディング（1）	リーディングのプロセスとリーディング指導
9	リーディング（2）	部分の発音練習法、母語への翻訳フレーズ・リーディング
10	リーディング（3）	リーディング部分の模擬授業と授業検討会
11	ライティング（1）	ライティングのプロセスとライティング指導
12	ライティング（2）	文字、作文、文章の指導の実践
13	ライティング（3）	ライティング部分の模擬授業と授業検討会
14	指導法について	これまでの講義を通じて問題点や指導法の改善
15	まとめ	授業内容の総まとめと試験